

令和5年11月24日
13:30 ~ 15:30

令和5年度 第2回学校協議会 議事録

1. 自己紹介

岸野 浩仁 様（本協議会委員長）、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）
佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）、石部 巧 様（鳥飼東公民館館長）
堤 あけみ 様（主任児童委員）、中嶋校長、大槻教頭 計7名出席

2. 児童の様子

○全学年の授業の様子を約8分間ずつ参観。

1年…音楽、 2年…特活、 3年…総合／音楽、 5年…理科、 4年・6年…異学年交流

<主な学校行事及び取組みの紹介>

○校長より第一回学校協議会（6月22日）以降の取組みについて説明。

- ・土曜参観／引き渡し訓練……7月1日に実施。特に混乱なく引き渡し訓練も実施できた。
- ・夏休みプール指導……終業式の翌日から5日間設定。（猛暑の影響を受け、最終日のみ中止）
- ・平和登校日……カレンダーの関係で8月4日（金）に実施。平和学習として位置づけており、意義の深い学習である。しかしながら、猛暑下で登下校となっていること、夏休み期間中のため、出席率が年々低下していることが課題。来年度は一学期終業式の日に行う等、日程の見直しを検討している。
- ・夏季休業日明け一週間を午前授業とする取組み
……児童や教職員にとって非常に好評であった。（気持ちの切り替えも含め、余裕をもって落ち着いた雰囲気ですごすことができた。）
- ・5年生稲刈体験……例年どおり地域の方の田んぼをお借りして、稲刈り体験学習を行った。
- ・6年生修学旅行……10月12日～13日に広島・岡山方面へ行き、平和記念公園では平和について学び、姫路セントラルパークでは、楽しい思い出づくりを行うなど、仲間との絆を深めることができた。
- ・校内音楽会……10月29日に4年ぶりに開催した。保護者や地域の方など、多くの人に来校いただいた。来年度も継続していきたい。
- ・子どもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業
……10月30日～31日に国立教育政策研究所から事業の担当者が訪問され、五中校区全体で取組みと進捗について説明。現在のところ、本校の取組みが順調に進められているとアドバイスをいただいた。
- ・秋の遠足（社会見学）……日時は学年によって異なるが、すべての学年で計画通りに実施できている。12月には1・2年生が京都方面へ遠足に行く予定である。

3. 学校経営計画の進捗状況及び学校アンケートの結果

- ・校長より学校アンケートの結果をもとに、成果と課題、今後に向けた取組み等について説明。

4. 質疑・応答

- 学校アンケートの項目にある「いじめ」に関する設問について、児童回答で「3年～6年」の項目で課題として挙げている20%以上の項目に対し、どのように捉えているか。

→アンケート結果を踏まえ、教職員全体で共有し、手立てや方策を考えたい。今年度も昨年度までと変わりなく実践している。実際にいじめ事案は大きく減っているが、実感を伴っていない可能性も考えられる。効果検証を行い、対応したい。

- 学校アンケートにある保護者の中で「わからない」と回答する割合が高いことが気になる。学校では毎日のように情報発信をしていると捉えている。保護者の方が忙しくされているのか、それらを見る時間をとることができていない現状や、学校教育への関心の低さが根底にあるのではないか。

→学校では、保護者の方や地域の方々に対して、今後も開かれた学校づくりを進めていくために情報発信に努めてまいりたい。また、コロナ禍の制限がなくなったので、保護者や地域の方々をはじめ、校内音楽会のように多くの方々に来校していただけるようにしていきたい。

- アンケート結果が1・2年と3～6年と分かれているが、全学年を一緒に集計することや低・中・高に分けるなど、他の表し方もできるのではないか。

→表し方については校内でも教職員に意見をもらい、検討した。その中には、ご質問いただいたような意見もあがった。しかしながら、過去4年間、同様に公表してきた経緯、全体を一緒にすることで数値が上下し、煙に巻いたようにすることは良くないと判断し、今年度も昨年度と同様に現行の形式で公表することにした。勿論、ご意見があれば今後検討を重ね、より良いものにしていきたい。

- 授業参観では、低学年もタブレットを活用した授業づくりをしていた。4・6年生は異学年交流でバスケットボールをしており、いきいきとしていた。5年生の理科の学習では、畑を活用した簡易実験（土砂災害が起こる仕組み）を行い、楽しそうに授業へ参加しているのが印象的だった。

- それぞれの学年にある課題は改善されているか。

→教職員が一丸となって改善に向けて働きかけている。学校全体では、いじめや暴力の件数は昨年度に比べ激減している。また新規不登校者も現在のところ出おらず、昨年まで学校へ行き渋っていた児童も今年度は学校へ来ることができていることから、改善してきていると捉えている。

- 鳥飼小学校と統廃合に向けた交流について、摂津市のYouTubeチャンネルで2年生の交流会の様子を拝見した。交流の進捗等は、どのようになっているか。

→1学期に続き、2学期も交流を活発に行っている。夏には教職員同士の研修や五中校区の合同研修を行った。互いにそれぞれの学校へ赴き、校内研修に参加するなど交流が進んでいる。子ども同士の交流では、YouTubeでご覧いただいたこと以外にも、11月には本校の1年生と鳥飼小学校の1年生があじさい公園で「秋さがし」の交流を行っている。

- 第3回の学校協議会の時期が以前のように2月末くらいにはできないものか。摂津市学力定着度調査の同一集団の経年比較や子どもたちの伸びも見たい。児童がどのように成長したのかを知りたいところである。

→年々、学校協議会の開催時期が早まっている実情がある。実質2学期までの結果から評価をいただかなければならない状況になってきている。関係機関からの書類等の提出時期が早くなっていることが背景としてあげられる。学校でも、3学期の市学力定着度調査の結果等も踏まえ、判断いただきたいという思いは同じである。

5. その他

- 第3回学校協議会の予定→1月中旬～下旬に実施予定。その際、今年度の評価をいただきたい。